

2023年度

かずさみどりのもり保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年1月4日（木）～2024年3月31日（日）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月16日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	安全面を考慮しながら、子どもの気持ちに寄り添い「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」ことのできる環境作りを心がけた。 給食では、自由におもいっきりたべることができるよう配慮した。
子どもの発達援助	全職員が子どもの発達状況を把握し、個々の発達に対応できるよう心がけた。 子どもの「やりたい気持ち」を伸ばせるよう配慮し、個々に合わせた活動の援助を行なった。
保護者に対する支援	感染症対策を行ないながら行事を行なうことで、子どもの成長を見ていただく機会を設けることができた。8月より365日、朝6時からの開園を実施し、保護者様のニーズに合わせた支援を行なうことができた。
保育を支える組織的基盤	社内研修や園内研修を受講することで、保育に対する知識を再確認し、共有することで個々のスキルを上げることができた。 伝達ノートを活用することにより、子どもの情報を共有し、職員の連携が図れるよう努めた。

総評
子どもがやりたいこと、興味を持ったことを取り入れ、個々の発達に合わせた行事計画を立て実施した。365日、朝6時からの開園をスタートするにあたり、何度もミーティングを行い、様々な問題点を共有しながら実施することができた。今後さらに職員一同連携を取り、軌道に乗せられるようにしていきたい。次年度も、保護者様とのコミュニケーションを大切に、個々のニーズに合わせた保育支援を行っていきたいと思う。